

出張報告

報告日 令和7年10月20日

会 派 名	明日への希望
報告者氏名	近藤由香里
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	財政比較特別講座
日 時	令和7年10月17日（金） 17：00 ～ 21：30
場 所 （会場）	自宅（オンライン受講）
調査項目等	・データであなたのまちの特徴を知る方法 ・あなたのまちの財政の比較分析
概 要	◆データであなたのまちの特徴を知る方法 ○流山市、明石市の「先進事例」があなたのまちで役に立たない理由 ・あなたのまちは流山市ではない：自治体によって状況は異なる ・先進事例で安易に飛びつく落とし穴：必要なのはわが市の特徴を知ること ・職員はわが市の特徴を意外と知らない：議員は職員に考えさせよう ○あなたのまち「だけ」みても、特徴はわからない ・自治体を比較する軸は人口、産業構造 ・近隣自治体の比較はデメリットが多い：比較の基本は類似団体 ○あなたのまちがよくわかる比較データはここにある ・財政状況資料集 ・類似団体比較カード ・人事行政の運営等の状況 ・経営比較分析表 ・地域経済分析システム REASAS ・e-Stat ○23区の実データで比較分析を体験 ・東京23区でお金持ちの区はどこか ・区民が高所得の区はどこか ・財政力指数と区民の所得には相関関係がある ◆あなたのまちの財政の比較分析 ○財政の良し悪しは予算決算では見えてこない ・予算書、決算書の構成が性質別 ・財政で使う自治体会計の用語が独特 ・自治体会計の考え方が独特 ・現金主義の落とし穴：実質収支、市債と基金

	・自治体の「黒字」「赤字」は何種類もある ・比較で財政の良し悪しがわかる ○職員にいくら聞いても行政コストが高い安いはわからない ・決算は事業とセットでないとわからない：「一人いくら？」を確認する ・他と比べて、高いか安いを確認する：なぜ高いか、事情を説明させる ○データでみると 23 区の財政はこんなに違う ・財政力指数ランキング ・インフラ老朽化の比較 ・住民一人当たり行政コスト（円） ○あなたのまちの財政の良し悪しを実データで分析 ・実質収支ではなく実質単年度収支を見る：決算カード ・赤字補てんの繰出金は要注意：基準内か基準外か／独立採算制が基本 ・基金の取り崩しには要注意
所 感 等	近年、流山市や明石市などの先進事例が注目されているが、安易に模倣しても、各自治体の置かれた条件が異なるため、同様の効果が上がるとは限らない。特に、国が発行する先進事例集はコンサル会社に委託して作成されており、見栄えのする政策・施策を中心に取り上げる傾向にある。一般質問の題材や行政視察の選定においても、こうした「先進的」とされる自治体に目が向きがちだが、自市において再現性があるのか、慎重に見極める必要がある。 再現性を判断するには、まず自らのまちの特徴を正確に把握することが出発点となる。その際には、感覚的な理解ではなく、客観的な指標に基づき現状を捉えることが重要である。しかし、単に自市のデータを眺めるだけでは特徴は見えてこない。近隣市町との比較は条件が大きく異なり、分析としての有効性が乏しい場合もある。比較軸として有効なのは、人口や産業構造であり、総務省の類似団体区分に基づく比較や、財政状況資料集、経営比較分析表、RESAS 等を活用することで、よりの確に自市の立ち位置を把握できると理解した。 また、財政面においても、予算書や決算書の表面的な数字だけでは、健全性は判断できない。実質単年度収支や基金の動きなど、持続可能性に関わる指標を重視することが大切である。さらに、行政コストの高低を評価する際には、他自治体との比較を通じて「なぜ高いのか」「どのような要因によるのか」を検証する姿勢が求められる。 本研修を通じて、「データに基づく現状把握」の重要性を改めて実感した。先進事例に頼るのではなく、自市のデータを基に強みと課題を客観的に分析し、将来像を描くことが、持続可能な自治体経営につながると思う。今後は、データを活用した対話と分析を通じて、より根拠ある質問や議論を行ってきたい。